

アジア太平洋エネルギー研究センター 拠出金

令和2年度概算要求額 1.1億円（1.1億円）

資源エネルギー 国際課
03-3501-0598

事業の内容

事業目的・概要

●アジア太平洋経済協力(APEC)のエネルギー専門研究機関であるアジア太平洋エネルギー研究センター (APERC) (注)を通じて、アジア太平洋地域における石油・天然ガスの供給途絶への対応を強化し、エネルギー安全保障の強化を図ります。

1. 石油ガスセキュリティに関する人材育成・緊急時対応訓練

エネルギーの国外依存度が高いAPEC参加国・地域において、石油と天然ガスの供給途絶時対応の検討が必要です。APERCにおいて「APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ」の下、石油・天然ガスの途絶シナリオに基づく対応訓練や情報交換を行います。

2. 石油ガスセキュリティに関する調査研究

APEC地域におけるエネルギー安全保障に関する調査研究及び政策提言を行います。

成果目標

- アジア太平洋地域の緊急時対応能力の向上に資する活動を通じ、我が国のエネルギー安全保障の向上を目指します。
- 令和12年度までの11年間で、APECに参加する11の途上国・地域に対してセキュリティ・エクササイズを実施し、エネルギー安全保障の向上を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ 事業内容

(1) 石油・ガス・セキュリティ・エクササイズの実施

- APEC参加国・地域の要請に対して専門家を派遣し、自主的エクササイズを支援。

＜実施実績＞

- ・平成25年9月 タイ
- ・平成25年10月 インドネシア
- ・平成27年12月 フィリピン
- ・平成29年3月 オーストラリア
- ・平成29年11月 ペルー
- ・平成31年3月 チリ



(2) 石油・ガス・セキュリティ・ネットワークの構築

- 石油・ガスのセキュリティに関するニュースレターを定期的に発信。
- 年1回フォーラムを開催し、各国・地域代表が石油・ガスのセキュリティに関し情報交換を行うと共に、緊急時対応の改善策について共同討議を実施。

＜開催実績＞

- ・平成25年、26年 東京
- ・平成27年4月 北九州
- ・平成28年3月 鹿児島
- ・平成29年6月 イルクーツク
- ・平成30年3月 東京
- ・平成31年4月 仙台



(3) 石油・ガス・セキュリティ・スタディの刊行

- 石油・ガスのセキュリティに関連するテーマについて調査研究を行い、年1～2本レポートを刊行する。

＜テーマ例＞

- ・災害耐性エネルギー源としてのLPGの優位性
- ・低価格がエネルギーセキュリティに及ぼすインパクト

(注) APERCは、アジア太平洋地域におけるエネルギー協力を推進することを目的として、日本の強いイニシアチブの下、平成7年11月のAPEC首脳会合（大阪）において設立が提案され、平成8年7月に設立された。